京都あぐり便り

護王神社

近畿農政局京都支局
発行：令和2年1月6日

謹・賀・新・年

もくじ

P1‥令和2年度農林水産関係予算及び令和元年度農林水産関係補正予算が閣議決定されました！
P2‥2020年農林業センサスが始まりました！
近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第3回）の選定結果
P3‥現場だより「最新設備のハウスで美味しいトマトの高収量栽培を目指す株式会社京都杉田農園（京田辺市）」
P4‥京都府農業の現状、近畿農政局京都支局からのお知らせ

令和2年度農林水産関係予算及び令和元年度農林水産関係補正予算が閣議決定されました！

令和元年度農林水産関係補正予算が令和元年12月13日に閣議決定されました。
1 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施に関連する予算・・・3,250億円
2 災害からの復旧・復興と安全・安心に関連する予算・・・2,144億円
3 「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく施策等の推進予算・・・460億円
詳細については、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/budget/r1hosei.html

令和2年度農林水産関係予算が令和元年12月20日に閣議決定されました。
1 農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化と高付加価値化
2 「スマート農業」の実現と強い農業のための基盤づくり
3 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進
4 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施
5 食の安全・消費者の信頼確保
6 農山漁村の活性化
7 林業の成長産業化と「林業イノベーション」の推進
8 水産改革の実行による適切な資源管理と水産業の成長産業化
に関連する予算として総額2兆3,109億円（前年度比1億円増）となっています。
詳細については、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/budget/r2kettei.html

2020年農林業センサスが始まりました！

農林水産省では、全国一斉に「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在調査）」を実施しています。

農林業センサスは、農林業の“今”を知り、“未来”へつなげるための大切な統計調査です。

調査の対象となる農林業を営まれている皆様、集落の代表者の皆様！あなたの答えが必要です。

調査票がお手元に届きましたら、ご協力お願いします。

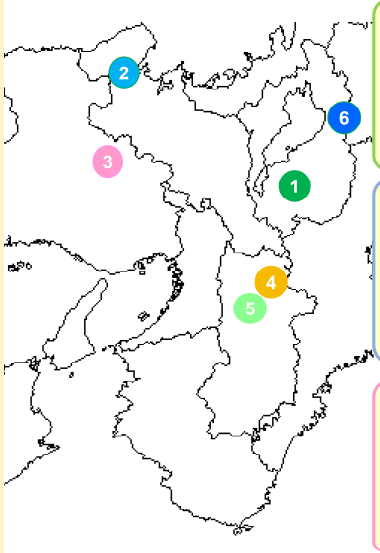
詳細については、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020/index.html

【お問合せ先】 近畿農政局統計部経営・構造統計課　075-414-9640

近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第3回）の選定結果

近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第3回）として、管内5地区及び1名の農山漁村活性化の優良事例を選定しました。京都府からは、ジビエ販売による雇用の場の創出や空き家を移住者向けイベント等で活用する取組を進めておられる宮津市の『上世屋定住促進協議会』が選定されました。

近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第3回）選定地区及び個人一覧



1 滋賀県　守山市
守山矢島かぶらの会
－ 伝統野菜復活で地域活性化 －
伝統野菜を復活させ、小中学校、自治体、商社が一体となる取り組みで新たなブランドとして地域活性化に貢献。

2 京都府　宮津市
上世屋定住促進協議会
－ 土着しよう土着してもらおう －
若手世代中心に、ジビエ処理施設や移住体験施設、ECサイトを立ち上げ、新たな移住者の受け皿を作る。

3 兵庫県　多可町
特定非営利活動法人cambio
－マイナスからの挑戦！そして広がる未来－
福祉事業での鳥獣対策と地域課題解決型無添加ドッグフード「TASHIKA」の製造販売。

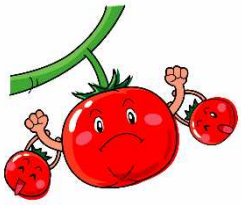
4 奈良県　奈良市
奈良追分協議会
－ 地域の歴史から始める農福連携と地域共生 －
若年認知症の人等働きたくても働けない人たちと、人手不足の農家との連携で地域活性化を目指す。

5 奈良県　田原本町
美しい多地区の田園風景を楽しむ会
－ 活気と夢に満ちた農村地域を次世代に継承！ －
水田フル活用と育苗で農業農村の継続・交流（稲作、生き物観察、食育）の実施、女性・子供の村づくりへの参加。

6 滋賀県　米原市
谷口　隆一【個人部門】
－ 足元に素晴らしい地域の宝物があった－
薬草と高山植物で有名な伊吹山の伊吹大根、蓬、在来蕎麦を企業連携で付加価値を高めた6次産業に取り組む。

詳細については、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/191204.html
【お問合せ先】 近畿農政局農村振興部農村計画課　075-414-9050

現場だより



最新設備のハウスで美味しい トマトの高収量栽培を目指す 株式会社 京都杉田農園（京田辺市）

代表の杉田　充さんは、京都府立農業大学校を卒業後、実家で就農されましたが、26歳の時にお父様が他界され、独り立ちされました。

平成29年9月にお父様の夢でもあった、最新設備のオランダ式高生産性ハウスでトマト栽培を開始されました。

現在は、最新施設を含む50aでトマト栽培をされています。

最新施設では、ハウス内の光量や温度、湿度、CO_2濃度をコンピューターで管理し、ロックウールを使った養液栽培をされています。

環境を整えて、美味しいトマトを栽培し、施設の稼働率を100%にすることで、今まで以上に高収量となることを目指されています。

京都杉田農園のトマトは、自前の直売所のほか、京都、奈良、和歌山の農産物直売所等で販売されています。

また、糖度だけでなく、酸味とのバランスが取れたトマトジュースの商品化に向け取り組まれています。

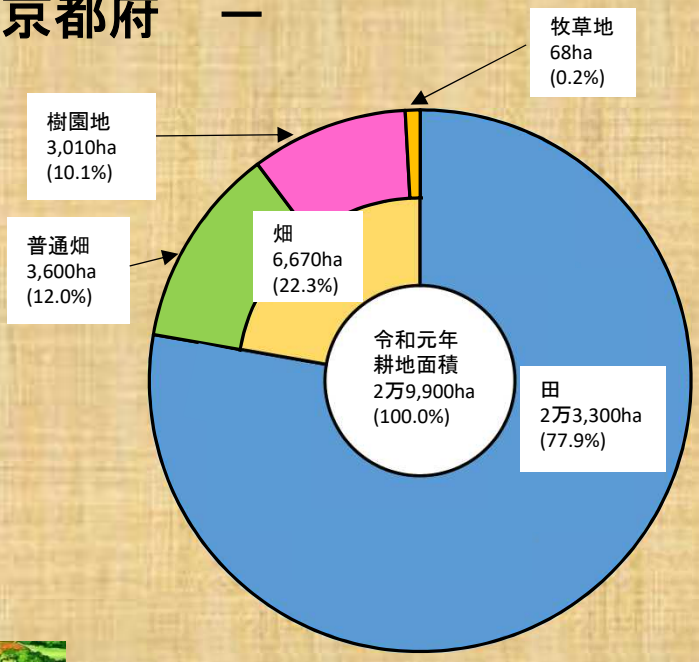
京都府農業の現状

令和元年耕地面積（7月15日現在）
－　京都府　－

【調査結果の概要】
1　京都府の耕地面積（田畑計）は2万9,900haで前年に比べ400ha減少した。

2　田の耕地面積は2万3,300haで、前年に比べ300ha減少した。

3　畑の耕地面積は6,670haで、前年に比べ20ha減少した。



注：統計数値については、四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

資料：「令和元年耕地面積（7月15日現在）」（農林水産省）

～近畿農政局京都支局からのお知らせ～

明けましておめでとうございます。
令和としては最初のお正月です。特別な気持ちで新年を迎えられた方もいらっしゃるのではないでしょうか。
さて、今年の干支であるねずみは「ねずみ算」という言葉があるほど、子供をどんどん産んで数を増やすことから「子孫繁栄」の象徴とされています。
2020年は、日本の経済や農業が繁栄する年になることを願います。
また、今年こそ、災害の少ない穏やかな一年であってほしいものですね。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

あふてらす
農林漁業はじめるサイト
© 2019 農林水産省

「あふてらす」は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方、これからはじめたい方向けの情報を発信しています。
https://www.maff.go.jp/j/aff_terrace/

お問合せ先：近畿農政局京都支局
〒602-8054　京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
TEL：075-414-9015　　FAX：075-414-9057
ホームページ：https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html